

病理組織検査報告書

病院ID: 0001

2024/04/08

AIRDEC

御中

(受付日: 2024/04/01)

患者名: 白井 しすぷー 様 検査番号: 0001

動物種: 猫 品種: mix 検査組織: 心臓、肺

年齢: 2歳 6ヶ月 性別: 去勢♂

診断名 肥大型心筋症 (HCM)、肺胞性肺水腫とII型肺胞上皮過形成

組織所見

肉眼的に心臓全体が中等度～重度に拡大して丸みを増しており、左房および右房の中等度拡張を伴っていました。4腔の縦断面(肉眼写真)ならびに心室の横断面では、左室壁と心室中隔はともに重度に肥厚するとともに(対称性肥大パターン)、右室壁の軽度～中等度の肥厚を随伴していました。また、心筋層は全域にわたって混濁・褪色してしていました。組織学的検索では、左室壁と心室中隔に以下のような特徴的な所見が観察されました:①心筋細胞の中等度～重度の肥大;②心筋錯綜配列(組織写真)(肥大した心筋細胞が、通常の2細胞結合のみならず4細胞またはそれ以上の結合パターンをとるため、重畳、交錯、異常分岐=樹枝状分岐、渦巻き状配列を示します);③叢状線維化(錯綜配列心筋細胞間にみられる微細な膠原線維からなる網目状の線維化です);④心筋層内小動脈の細胞・線維性内膜肥厚。なお、本例の場合には、軽度～中等度の肥厚を呈してした右室壁にも典型的な心筋錯綜配列と叢状線維化が観察されました。一方、肺は全葉にわたり灰褐色調と硬固感を増しており、組織学的に種々の程度の肺胞性肺水腫とII型肺胞上皮細胞の増殖に起因する肺胞壁の肥厚が観察されました(低酸素状態を反映しています)。

コメント

以上の肉眼所見ならびに組織所見から、肥大型心筋症(HCM)と診断いたしました。突然死されたとのこと、上記の心臓および肺の病理所見、死亡時の状況等を勘案いたしますと、やはりHCMに起因する不整脈死である可能性が高いものと考えられます(心筋錯綜配列と間質性線維化が不応期の不均一性/伝導遅延を生じる基質となり、リエントリーを介して心室頻拍/心室細動を引き起こす)。

写真1: 心臓の縦断像
左室壁と心室中隔が重度に肥厚し、内腔の狭小化を伴っている。



写真2: 左室心筋の組織像(対物×20)
左室壁のほぼ全域に心筋錯綜配列と叢状線維化がみられる。

